

日本パーソナリティ心理学会第101回常任理事会

日 時：2011年5月28日（土）15：00～19：00

場 所：東洋大学2号館第1会議室

出席者：浮谷秀一理事長、堀毛一也副理事長、小塩真司、中村真、二宮克美、藤田主一、
向田久美子、山崎晴美、渡邊芳之、荘巖舜哉大会準備委員長

委任状：松田英子（理事長）

事務局：加藤司（事務局長）太幡直也（幹事）

報告事項

I 各種委員会報告

1 機関誌編集委員会（渡邊委員長）

(1) 編集委員会の開催状況

常任編集委員会を5月18日から5月21日に開催し、「パーソナリティ研究」第20巻1号の掲載論文を決定した。

(2) 「パーソナリティ研究」の発行状況について

1) 「パーソナリティ研究」第19巻3号の発行状況について

第19巻3号の発行が年度を越えたために科研費補助金についての表示を変更した。

2) 「パーソナリティ研究」第20巻1号の発行状況について

掲載論文は下表の9本（依頼論文英文1本，原著2本，資料1本，ショートレポート5本）である。

掲載番号	番号	種別	題目	筆頭者	受稿	受理
20-1-1		依頼論文	Personality Trait Development in Adulthood: Patterns and Implications	B.W. Roberts	2011/4/28	2011/5/13
20-1-2	A-237	原著	現代青年の友人関係と自尊感情の関連について	岡田努	2010/2/24	2011/2/9
20-1-3	A-236	原著	大学生における境界例心性とライフイベントおよび不快・快感情との関連性	江上奈美子	2010/2/5	2011/3/30
20-1-4	B-61	資料	過度な注意の持続と不安・抑うつとの関連	松浦隆信	2010/6/12	2011/4/12
20-1-5	S-174	ショートレポート	小学校教師の被援助志向性とバーンアウトに関する探索的研究	貝川直子	2010/3/5	2011/3/13
20-1-6	S-172	ショートレポート	「日常型心の傷」の記憶表象尺度の開発	小田部貴子	2010/1/20	2011/3/30
20-1-7	S-186	ショートレポート	中高生における二次元レジリエンス要因尺度(BRS)の妥当性	平野真理	2010/7/19	2011/4/12
20-1-8	S-171	ショートレポート	高不安者のネガティブ語に対する推測バイアスの検討	上田紋佳	2010/1/6	2011/4/12
20-1-9	S-183	ショートレポート	不安IATの予測的妥当性の検討	藤井勉	2010/6/12	2011/5/17

(3) 「パーソナリティ研究」の編集状況について

1) 「パーソナリティ研究」第20巻2号以降の編集状況

5月22日現在で採択論文はない。審査中56本、うち修正採択修正中が6本である。11月の発行を予定している。

(4) 投稿状況について

下記のとおりである。

年	月	原著	資料	ショートレポート	展望他	合計
2010	6	3	3	2	0	8
	7	1	0	3	0	4
	8	6	0	3	0	9
	9	1	0	1	0	2
	10	3	2	1	0	6
	11	5	2	2	0	9
	12	3	2	2	0	7
2011	1	3	0	2	0	5
	2	3	2	3	0	8
	3	2	1	2	0	5
	4	0	0	0	0	0
	5	3	1	2	0	6
合計		33	13	23	0	69

(5) 審査状況について

昨年6月から5月22日までの審査状況は以下の通りである。

年月	採択	要修正再審査	不採択	投稿取下
2010/6	4	14	4	1
7	0	3	0	1
8	2	9	2	1
9	1	3	1	1
10	3	5	1	1
11	2	10	2	0
12	3	8	1	0
2011/1	1	11	1	1
2	1	10	0	1
3	3	5	1	2
4	3	7	0	1
5	1	13	3	1
合計	24	98	16	11

(6) その他

1) J-STAGE 新システムへの移行について

J-STAGE が新システムに移行することとともない、「パーソナリティ研究」の電子投稿・審査システムも9月から新システムに移行、10月には現行システムの利用を停止することになる。

2) 科学研究費

第20巻発行に対して、80万の助成金を受けることになった。

2 経常的研究交流委員会（二宮委員長）

(1) シンポジウム

平成23年3月19日（土）に聖心女子大学で開催予定のシンポジウム『マンガが人に与えるポジティブな影響』（3月19日予定）は、東日本大震災の影響で中止になった。

(2) 平成 23 年度中の事業計画

第 20 回大会開催時における委員会企画シンポジウム

* 「学校外の文脈から学習意欲を捉える」

* 「恋愛関係における自己」

(3) 委員会構成について

委員長：二宮克美（愛知学院大学）

副委員長：森津太子（放送大学）（20 回大会まで）

3 年目委員（20 回大会まで）：中川明仁（同志社大学大学院）、佐藤史緒（東洋大学大学院）、
薊理津子（聖心女子大学）

2 年目委員（21 回大会まで）：谷口淳一（帝塚山大学）、岡田有司（立命館大学）、北嶋綾子
（埼玉精神神経センター）

1 年目委員（22 回大会まで）：天野陽一（首都大学東京）、佐々木淳（大阪大学）、武田美亜
（青山学院女子短期大学）、杉山佳菜子（愛知学院大学）、

次期委員候補（20 回大会から 23 回大会まで）：藤澤文（東京学芸大学）、佐藤広英（産業総
合技術総合研究所）、中谷庸輔（同志社大学）、吉澤寛之（岐阜聖徳学園大学）以上承認さ
れた。

3 広報委員会（小塩委員長）

(1) YPP2011 について

大会前日 9 月 1 日（木）15:00 から 18:00 於 ハートピア京都（視聴覚室）

(2) ウェブサイト移転について

NII（国立情報学研究所）のサービス終了に伴い、今年度中に学会サイトを移転すること
になった。

(3) 「パーソナリティ心理学 Q&A」について

「パーソナリティ心理学 Q&A」の原稿が尽きたので、新たに原稿執筆をお願いしたい。

4 国際交流委員会（向田委員長）

(1) 英語論文

Brent W. Roberts 先生より英語論文（高橋雄介との共著）が寄稿された。

(2) 第 20 回大会企画シンポジウム

日時：9 月 2 日（金）午後

題目：パーソナリティをどうとらえるか：人—状況論争を超えて

(3) Funder 教授講演会

日時：9 月 5 日（月）16 時 30 分から 18 時

場所：東洋大学

(4) First World Conference on Personality に関する出資依頼（要検討）

2013 年 3 月 20 日から 23 日に第 1 回 World Conference on Personality が南アフリカの
Stellenbosch で開催される。de Raad 教授より、2000 ユーロの出資をお願いできないかと
の依頼があり、500 ユーロを出資することになった。

5 学会活性化委員会（藤田委員長）

(1) 委員会構成について

越中康治（宮城教育大学）、成田健一（関西学院大学・大会主催校推薦）

2011 年度学会活性化委員会委員名簿

委員長 藤田圭一（日本体育大学）

副委員長 荒川歩（武蔵野美術大学）

委員 堀毛一也（東洋大学）、沢宮容子（立正大学）、東海林麗香（山梨大学）、谷伊織（浜松医科大学）、越中康治（宮城教育大学）、成田健一（関西学院大学）

以上の委員構成が承認された。

(2) 決算と予算について

3 月に予定していた企画が、地震で流れたため、その事業を 2011 年度に実施するため、2011 年度の予算を拡大してほしいとの要望が出された。

(3) 第 1 回パーソナリティ心理学基礎理論勉強会

パーソナリティの基礎理論に関わる文献の読書会をする。

日時：2011 年 3 月 3 日 14 時から 17 時

場所：宮城教育大学 3 号館 4 階教育心理学資料室

- ・パーソナリティ：心理学的解釈（G.W.オールポート著）
 - ・社会的態度：パーソナリティとイデオロギイ（H. J. アイゼンク・G. D. ウィルソン著）
- ### (4) パーソナリティ教育・応用力パワーアップ講座

若手教員の方が、パーソナリティ心理学の教育に関わる上で共通する問題を議論する。

日時：2011 年 3 月 12 日(土)13:00 より

場所：立正大学（大崎キャンパス 11 号館 1151 教室）

「パーソナリティ心理学の授業方法を考える」

「パーソナリティ心理学の社会的応用可能性を考える」

(5) 2011 年度の活動について

1) 大会発表賞について 審査過程について

2) 第 2 回パーソナリティ心理学基礎理論勉強会

日時：2011 年 6 月 18 日 13 時 30 分から 16 時 30 分

場所：「ルノワール」市ヶ谷駅前店を予定

- ・パーソナリティ：心理学的解釈（G.W.オールポート著）
- ・Carver, C. S., Sutton, S. K., & Scheier, M. F. (2000). Action, emotion, and personality: Emerging conceptual integration. *Personality and Social Psychology Bulletin*, 26, 741-751.

3) パーソナリティ教育・応用力パワーアップ講座

日時：2011 年 9 月 1 日 15:00~18:00

場所：京都光華女子大学

「パーソナリティ心理学の社会的応用可能性を考える」

「パーソナリティ心理学の授業方法を考える」

「授業評価を乗り越えて」

(6) ウェブアンケートの報告

実施期間：2011年2月10日～2月27日を実施し、報告がなされた。

(7) 被災会員への援助

援助箱を設置し、被災した会員に分配する提案があり、意見が交わされ、検討することになった。

6 各種電子化検討小委員会（中村委員長）

(1) 「パーソナリティ研究」の電子版強化ならびに紙媒体（印刷版）の廃止に関するアンケートの集計

前回の常任理事会において、アンケートの集計結果に基づき、現時点では紙媒体（印刷版）の廃止を急ぐ必要はないとの結論に至った。

集計結果は、総会資料に添付することが報告された。

(2) マイページの利用普及活動

第20回大会では、参加受付時にマイページを紹介したパンフレットを配布する。

II 日本心理学諸学会連合報告

1 理事会について（浮谷理事長）

5月7日に、臨時理事会が開催された。三団体で協議し合意した三団体要望案が提案され、承認したことなどが報告された。カリキュラムは、決定ではなく参考モデルとなった。

2 心理学検定について（代理報告：加藤事務局長）

2月27日（日）14時から 検定局員新旧合同会議にて、検定の主旨、動向、今年度の試験実施に関する情報が開示された。8月21日に実施することが報告された（藤田）。

III 大会準備状況について

1 第20回大会準備状況について（荘厳大会準備委員長）

大会スケジュールについて説明がなされた。予算規模は480万程度を推定している。

2 第21回大会準備状況について（浮谷理事長）

家島明彦（島根大学）大会準備委員長から、大会開催日程は2012年10月6日から7日、会場は島根県民会館になったこと、大会を運営する組織ができたことの連絡があったことが報告された。

IV 事務局報告（加藤事務局長）

1 会費未納に伴う退会者について

ML会議で決定した通り、別紙のとおり29名を退会処分とした。

V 「パーソナリティ心理学ハンドブックについて」（二宮常任理事）
福村出版の担当者から、進行状態が報告された。

VI その他
特になし

審議事項

I 2010年度決算、2011年度予算に関する件（山崎財務担当常任理事）
決算書の暫定案が提出され、修正したものを再提出することになった。
予算書案が提出され、一部修正したものを再提出することになった。

II 育志賞の推薦願について
丹野義彦氏（東京大学）より、高野慶輔氏（東京大学）を育志賞に推薦してほしいとの依頼があった。審議の結果、本学会として推薦することになった。

III 第100回常任理事会議事録承認に関する件（加藤司事務局長）
承認された。

IV 新入会審査に関する件（加藤事務局長）
一般会員11名、院生会員27名について、ML会議で承認されており、追認された。

V 退会希望者
8名から退会願いが提出された。審議の結果承認された。

VI 会勢報告
以上を踏まえ、賛助会員：1名、名誉会員：6名、一般会員：587名、院生会員：272名
学生会員：7名、計873名

VII その他
特になし。

次回常任理事会は7月16日（土）15：00から東洋大学にて開催予定